

**大学生への障がい者理解向上に向けて
「アンプティサッカー体験会 Supported by SOCCER KING」開催
3月4日（土）キャプテン翼スタジアム東京北**

文京学院大学でマーケティングを学ぶ経営学部新田研究室は、大学生を対象とした障がい者スポーツ体験会プログラム「アンプティサッカー体験会 Supported by SOCCER KING」を3月4日（土）に開催します。本イベントは、障がい者スポーツ「アンプティサッカー」の体験や障がい者とのトークセッションを通して、障がい者と共生していくための理解を大学生へ促すことを目的としており、学内外から大学生の参加者を広く募る予定です。

「アンプティサッカー体験会 Supported by SOCCER KING」とは

「アンプティサッカー」とは、下肢に障がいを持つ選手がロフトストランドクラッチと呼ぶ杖を使い片足でボールを蹴り、上肢に障がいを持つ選手が片腕でゴールを守る7人制競技です。当日はアンプティサッカー日本代表を含む8名の選手が参加し、障がいに関するトークセッションや大学生との体験試合を予定しています。

本学経営学部でマーケティングを学ぶ新田都志子ゼミでは、2014年度から東京オリンピック・パラリンピックを見据えてスポーツをテーマに研究を行ってきました。中でも障がい者スポーツの観戦や体験会に参加した際、集客ができていない現状に目を向け、障がい者スポーツの認知度向上・普及をマーケティングで支えるプログラムの開発・実践を進めてきました。2016年にはパラリンピック正式種目である障がい者スポーツ「ボッチャ」や「ゴールボール」の体験会を開催しました。今回は、デンマークのスポーツブランド「hummel」がサポートしている「アンプティサッカー」を通して、障がい者理解が広まるイベントを開催します。開催にあたり、キャプテン翼スタジアム東京北を運営する株式会社フロムワンに特別協賛を頂きました。



アンプティサッカーの様子

開催概要

日時：3月4日（土）13:00～16:00
場所：キャプテン翼スタジアム東京北（東京都北区王子1丁目4-1 サンスクエア内）
参加対象：大学生
参加費：無料
実施内容：トークセッション、アンプティサッカーの体験試合など
主催：文京学院大学 経営学部新田ゼミ +key 班
特別協賛：SOCCER KING（株式会社フロムワン）
協賛：hummel（株式会社エスエスケイ）
後援：特定非営利活動法人 日本アンプティサッカー協会

< 文京学院大学について >

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。